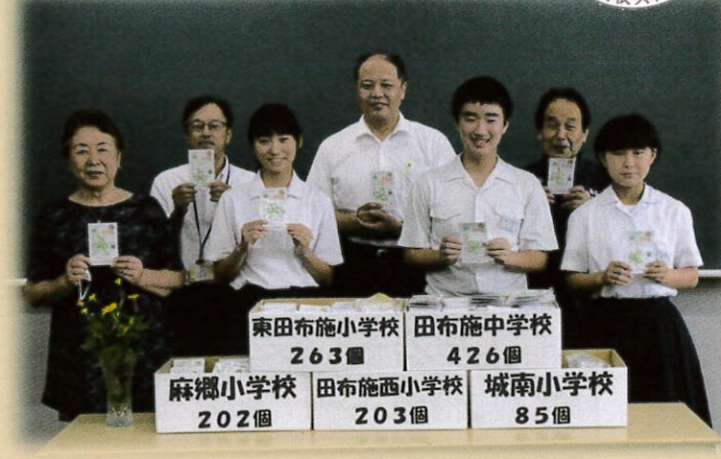


ボランティアだより

第67号 令和3年11月 編集・発行 田布施町ボランティア連絡協議会

田布施町大字下田布施 3430-1 社会福祉協議会内 (☎ 53-1103 FAX53-1105)

シトラスリボンで繋がる 思いやりと優しさの輪



後列:町社協 田縁事務局長 ポ連協会員 高見さん 総合支援学校 山中校長 宮本教諭
前列:ポ連協 正地会長 総合支援学校 生徒代表

後列:校長会 山崎会長、田布施中学校 濱田校長、町社協 田縁事務局長
前列:ポ連協 正地会長、生徒会代表3名

田布施総合支援学校児童・生徒、教職員延べ340名に、シトラスリボンをお届けしました。

田布施中学校延べ50名の生徒とポ連協メンバーがシトラスリボンの袋詰めを一緒に取組みました。
袋詰めされた 1,179 個のシトラスリボンは、町内の小中学校の生徒と教職員へお届けしました。



作成された100個のリボンは、同統括本部田布施支所に贈呈され、窓口の来店者に配られます。

JA山口県南すおう統括本部女性部田布施支部の役員の方々もシトラスリボンの趣旨に賛同され、シトラスリボン作りに取り組みました。材料は、ポ連協より提供させていただきました。

◎シトラスリボンに関する詳しい説明は、2ページをご覧ください。



シトラスリボン作りに取り組みました♪

田布施町ボランティア連絡協議会(以下、「ボ連協」という。)は、愛媛県の有志が始めた「シトラスリボンプロジェクト」の趣旨に賛同し、令和3年5月から10月までシトラスリボンづくりに取り組んでまいりました。

有志とボ連協メンバーで作ったシトラスリボンおよそ3,000個のうち1,300個は、医療機関をはじめ町役場、関係機関等の窓口を設置させていただき、町内の人に広くお届けすることができました。

また、1,700個については、町内の小中学校児童・生徒及び教職員、田布施総合支援学校生徒・教職員、町役場職員等へお届けさせていただきました。

ご協力いただいた医療機関・関係機関のご紹介

(順不同・敬称略)

藤田医院	弘和クリニック
新谷医院	やのくにクリニック
吉村医院	集団接種会場
山口県立田布施総合支援学校	町役場玄関
田布施図書館	中央公民館
東田布施公民館	城南公民館
西田布施公民館	麻郷公民館
麻里府公民館	麻郷福祉会館
人権学習講座会場	



町役場玄関



田布施図書館



ご協力ありがとうございました!

赤い羽根共同募金



この取り組みは、一部赤い羽根共同募金を活用して取り組んでいます。

《シトラスリボンプロジェクトについて》

シトラスリボンプロジェクトとは、コロナ禍で生まれた差別、偏見を耳にした愛媛の有志がつくったプロジェクトで、シトラス色(愛媛県にちなんだ柑橘系の色)のリボンを身につけて「ただいま」「おかえり」の気持ちを表す活動を広めています。リボンやロゴで表現する3つの輪は、地域と家庭と職場(もしくは)学校です。

誰もが新型コロナウイルス感染症に感染するリスクがある中、医療従事者をはじめ社会を支えるために頑張っている方、その家族や地域の方が、それぞれの暮らしの場所で「ただいま」「おかえり」と受け入れられる雰囲気をつくり、思いやりと笑顔に包まれた暮らしやすい社会を目指します。

コロナ禍のなかに居ても居なくても、みんなが心から暮らしやすいまちを今こそ。

コロナ禍の“その後”も見すえ、暮らしやすい社会を目指しませんか?

【参照・引用：①シトラスリボンプロジェクトちょびっと19+ホームページ ②長野県軽井沢町ホームページ】



今年も
お願いします！

歳末たすけあい店頭募金

「地域歳末たすけあい運動」は、新たな年を迎える時期に支援を必要とする人たちが、地域で安心して暮らすことができるよう関係機関・団体（ボ連協・中学校、募金配分団体など）協力のもと、田布施町社会福祉協議会が中心となり展開しています。その一環として、毎年実施している「歳末たすけあい店頭募金」を本年度は、下記実施日・会場にて行います。

募金の活用方法に関する詳しい内容は、令和3年10月発行 社協だより第101号（5・6ページ）をご参照ください。

実施日：令和3年12月5日（日）

会場：田布施地域交流館 8:30～10:30
マックスバリュ田布施店 9:30～11:30
マルキュウ田布施店 9:30～11:30



令和2年度の様子



皆様からの善意は、福祉事業の推進に活用され、町内に住む人のために役立てられます！

身近にできる支えあい

地域歳末たすけあい運動は、12月1日～12月31日まで実施予定です。各会場の店舗内にて募金箱を設置しております。皆様のご協力よろしくお願い申し上げます。

※新型コロナウイルス感染防止のため、体温チェック、マスクの着用、接触防止等の対策を講じて実施します。



アルミ缶収集の一時中止について

収集ボランティアでは、町内の人からお届けいただいた「アルミ缶」を回収後に換金し、地域福祉の財源として関係機関などへ寄附しています。この「アルミ缶の収集」を、都合により

令和3年12月27日より当分の間中止とさせていただきます。

今後の取組みについては、ボランティアだよりにてお知らせいたしますので、皆様のご理解よろしくお願い申し上げます。



イベント・行事中止のお知らせ

本年度、以下のイベント・行事については、新型コロナウイルス感染症等の影響により、中止いたします。皆様のご理解よろしくお願い申し上げます。

- (1) 24時間テレビ店頭募金
- (2) 歳末チャリティー押し花講座
- (3) ボランティアまつり



令和3年度やさしい手話講座

やってみよう!

「手話で楽しく会話しよう！」開催のお知らせ

この度、普段の生活に活用できる基本的な手話と手話ソングを通じて、手話を楽しく学ぶことを目的とした講座を以下のとおり開催いたします。

手話の経験がない人は、「手話は難しそう・・・」、「覚えられないかも・・・」と感じるかもしれませんが、手話サークルのメンバーが優しく手話を教えますので、安心して気軽にご参加ください。

講師 手話サークルきらら



参加費
無料

日時	令和4年2月19日(土)10:00~11:30 (受付開始9:30~)
会場	高齢者いきいき館(田布施地域交流館横)
参加対象	手話に興味・関心のある人およそ10名(※先着順)
内容	(1)日常生活の手話を覚えよう! (2)手話ソングにチャレンジ!
申込方法	令和4年2月10日(木)までに、町社協へ電話又はメールでお申込みください。 電話 0820-53-1103、メール tabuseshakyo@yamaguchi.email.ne.jp 申込みの際には、①お名前、②住所、③連絡先などの情報が必要です。
備考	(1)中学生以下のお子さんの参加は、保護者同伴でご参加ください。 (2)新型コロナウイルス感染状況等により、急遽中止となる場合がありますので、予めご了承ください。

手話サークルきららのご紹介

楽しく手話を学んでいます♪



昭和63年設立。元々「色えんぴつの会」という団体名で活動していたが、2001年のきらら博の開催を機に「手話サークルきらら」に改名する。

活動のきっかけは、有志の「手話をやってみましょう」の一言から始まり、現在も「手話を楽しく学ぶ」ことをモットーに、月4回西田布施公民館で活動する。

また、学校などから手話の講師派遣の希望があれば、手話体験、障がいについての講話などにも積極的に取り組んでいる。

活動日：(1) 第1・3水曜日 19:30~20:30
(2) 第2・4土曜日 10:00~12:00
場 所：西田布施公民館

◆本紙面に関するお問合せは、田布施町社会福祉協議会までご連絡ください◆

【電話】0820-53-1103 【メール】tabuseshakyo@yamaguchi.email.ne.jp